

令和6年度大分県学力定着状況調査結果分析と改善方策について

宇佐市教育委員会

小学校 国語

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	52.2	51.2
大分県	50.9	51.0

正答率	知識	活用
目標値	66.4	60.0
宇佐市	69.7	68.2
大分県	67.1	67.8

(2) 観点別・領域別正答率

	観 点			領 域					
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い 方に関する 事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
目標値	65.8	60.7	58.0	67.5	55.0	70.0	63.0	57.5	60.8
宇佐市	69.1	67.7	71.1	72.0	52.8	72.6	63.5	80.2	62.7
大分県	67.2	65.5	68.2	69.4	53.1	73.8	65.2	73.2	60.5
偏差値	52.0	51.9	53.0	52.7	50.1	49.2	49.5	54.1	50.6

(3) 結果のポイント

- 偏差値(知識・活用)は50を上回っている。また、正答率(知識・活用)も県平均を上回っている。
- 観点別正答率では、すべて県平均を上回っている。領域別正答率では、「書くこと」については大幅に上回っている。しかし、「我が国の言語文化に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」については、県平均を下回った。

(4) 授業の改善のポイント

【言葉の特徴や使い方に 関する事項】

- 学習した漢字の反復練習や既習の漢字を各教科や日常生活の中で使い、語彙を増やす。
- 漢字の持つ意味を考えながら文や文章の中で正しく使うことができるよう指導する。また、長期記憶につなげるために、読書活動の充実を図っていく。

【読むこと】

- 筆者の主張や主題を考えながら、事柄の内容を関係づけて考えることができるように、文章の組み立てを試行錯誤するような活動を取り入れる。文章の内容をまとめる活動を取り入れるときには、選んだ事柄が、自分の考えの理由や事例としてふさわしいかどうか吟味したり、友だちと読み合って確認したりすることも行う。

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	53.0	53.3
大分県	52.6	51.8

正答率	知識	活用
目標値	67.1	55.9
宇佐市	74.7	64.0
大分県	73.8	60.4

(2) 観点別・領域別正答率

	観 点			領 域			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
目標値	69.2	45.6	51.0	67.9	63.1	59.2	53.8
宇佐市	77.5	51.4	57.7	75.8	73.9	64.6	60.3
大分県	75.5	50.4	53.6	74.7	71.1	61.5	59.0
偏差値	53.6	52.1	53.7	52.9	53.5	52.3	52.5

(3) 結果のポイント

- 偏差値(知識・活用)は50を上回っている。また、正答率(知識・活用)も県平均を上回っている。
- 観点別・領域別正答率では、目標値はすべて上回っている。特に、観点別「主体的に学習に取り組む態度」は大幅に上回っている。

(4) 授業の改善のポイント

【変化と関係】

- 伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察できるようにする。
- 答えや計算の仕方を説明するだけでなく、求め方について、表を用いて変化の規則性を説明することができるようにする。

【データの活用】

- 複数のグラフを比較させ、読み取ったことを話し合ったり、まとめたりする学習活動を仕組む。
(ICTを効果的に活用する等)
- 同じグラフであっても、折れ線グラフの縦軸の幅を変えることなどによって、見え方が異なることに気づかせる。

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	51.7	52.3
大分県	51.4	51.5

正答率	知識	活用
目標値	68.8	46.1
宇佐市	72.4	50.9
大分県	71.8	48.9

(2) 観点別・領域別正答率

	観 点			領 域	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	物質・エネルギー	生命・地球
目標値	67.2	54.2	63.6	58.6	65.0
宇佐市	71.0	58.3	69.5	61.0	70.2
大分県	69.7	57.7	69.0	59.9	69.3
偏差値	52.1	51.7	52.1	51.5	52.4

(3) 結果のポイント

○偏差値(知識・活用)は50を上回っている。また、正答率(知識・活用)も県平均を上回っている。

○観点別・領域別正答率では、目標値はすべて上回っている。

(4) 授業の改善のポイント

【生命と地球】

○季節ごとの身近な動物の活動の様子と季節の変化に着目して、それらを関係付けて調べることが重要。

- ・ 季節による動物の活動の変化について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現するとともに、動物の活動は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを捉えるように指導していく。

★実際の観察ができない場合→ICT、図書教材等を活用

【物質とエネルギー】

○水を温めたり、冷やしたりしたときの体積の変化に着目して、体積と温度の変化とを関係付けて、水の温度変化に伴う体積の変化を調べることが重要。

○問題解決の学習活動を次のように教師が展開させていく。

- ・ 児童が見いだした問題に対して、既習の内容や生活経験を基に予想させる。
- ・ 予想や仮説を確かめるための観察や実験の方法を考える。
- ・ 得られた実験の結果をもとに考察し、結論を導き出させる。

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	51.0	49.7
大分県	51.2	51.0

正答率	知識	活用
目標値	67.9	55.0
宇佐市	71.9	55.2
大分県	72.2	58.2

(2) 観点別・領域別正答率

	観 点			領 域					
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い 方に関する 事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
目標値	70.4	58.1	51.0	70.6	62.5	85.0	56.7	58.8	59.2
宇佐市	72.6	61.3	51.5	71.8	66.6	91.5	53.5	70.2	63.1
大分県	73.7	63.1	52.7	72.3	71.0	91.9	56.4	70.3	65.1
偏差値	50.3	50.3	51.1	50.6	49.2	50.7	49.0	51.8	49.5

(3) 結果のポイント

- 知識は偏差値50を超えている。しかし、正答率(知識・活用)は県平均を下回っている。
- 正答率(観点別・領域別)はすべてにおいて県を下回っている。特に「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」については大幅に県平均を下回っている。

(4) 授業の改善のポイント

【話すこと・聞くこと】

- 資料からどのような情報を取り上げるかを考えるとともに、話し手の目的や意図に合わせて、自分の考えをその目的に沿って構築させていくことが考えられる。

【言葉の特徴や使い方に
関する事項】

- 漢字の書き取り学習だけでなく、漢字や漢字の部首や意味、文章中での使い方にも関連させながら、学習していくことが重要。また、長期記憶につなげるために、読書活動の充実も考えられる。

【情報の扱い方に関する事項】

- 目的に応じて、必要な情報を適切に取り出す場面において、生徒自身が「必要な情報を過不足なく取り出せていることを確認することが重要。
- ・各自で必要な情報を過不足なく取り出させているかを確認できるような手立てを工夫する。また、生徒が、適切に情報を取り出すことができていない場合には、質問により情報を引き出したり、文章に戻って情報を見つけたりする場面を改めて設定することが必要。

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	50.3	49.8
大分県	51.0	50.6

正答率	知識	活用
目標値	55.5	40.5
宇佐市	55.2	39.9
大分県	56.6	41.7

(2) 観点別・領域別正答率

	観 点			領 域	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	地理	歴史
目標値	55.0	44.6	40.5	49.0	52.0
宇佐市	54.7	44.0	39.9	49.1	51.1
大分県	56.3	45.4	41.7	49.6	53.6
偏差値	50.4	49.8	49.8	50.6	49.7

(3) 結果のポイント

- 偏差値において知識は50を超えているが、活用は県を下回っている。
- 正答率(観点別・領域別)はすべてにおいて県を下回っている。特に「歴史」については大幅に県平均を下回っている。

(4) 授業の改善のポイント

【地理】

- 地図帳等を活用し、緯線や経線の理解をしたり、地図の読み取りの確認を図っていったりすることが重要。
- 各国の統計資料を読み取り、既習事項と関連付けながら、地域的特色を捉えることが重要。
 - ・ 下記のどの段階でつまづいているかを把握し、支援・指導していく。
 - ①基本的な内容の理解(各国の位置等)する段階
 - ②資料を読み取る(各国の統計資料から目的等に沿って必要な情報をまとめる)段階
 - ③読み取った情報と既習内容を関連付けて考察する段階
 - ・ 「複数の資料をもとに考察」に対応できるよう、資料からわかることを読み取り、整理してまとめる学習活動を仕組む。
 - ・ 重要語句や出来事などの基礎知識は、小テストや家庭学習を利用したり、一問一答的な復習(ドリルパーク)で確実な定着を図ったりする。

【歴史】

- 歴史上の出来事や人物についての知識だけでなく、時代背景及び政策を前後の出来事と関連付けることが重要。
 - ・ 歴史上の出来事や人物において、当時の様子やその政策に至った原因やその政策によって何が変わったのかなどを関連付けたり、図や表にまとめたりすることが考えられる。

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	52.1	51.2
大分県	51.0	50.4

正答率	知識	活用
目標値	59.8	41.3
宇佐市	62.9	37.9
大分県	60.3	35.7

(2) 観点別・領域別正答率

	観 点			領 域			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	数と式	図形	関数	データの活用
目標値	59.8	38.6	42.3	60.0	58.8	44.2	50.0
宇佐市	62.5	35.7	41.4	62.2	61.5	45.7	47.7
大分県	59.8	33.9	39.7	60.5	58.4	44.3	42.7
偏差値	52.3	50.8	51.4	51.5	51.5	51.7	52.5

(3) 結果のポイント

○偏差値(知識・活用)は50をすべて上回っている。正答率(知識・活用)も県平均を上回っている。

○観点別・領域別においても、すべての項目で県平均を上回っている。

(4) 授業の改善のポイント

【数と式】

○図や表に表し、問題を可視化させることが重要。

- ・一元一次方程式を活用する問題解決の過程を充実させる必要がある。

- ①求めたい数量に着目し、それを文字で表す
- ②問題の中の数量やその関係から、二通りに表せる。
- ③それらを等号で結んで方程式をつくり、その方程式を解く。
- ④求めた解を問題に即して解釈し、問題の答えを求める。

○正の数・負の数の意味を理解させるとともに、立式した際、なぜそのような計算方法になるのかを考えることが重要。

- ・正の数・負の数の加法や減法など、数直線等を活用しながら視覚化させ、なぜそのような計算になるのかを捉えさせていくことが大切である。

【データの活用】

○データの傾向を読み取り、それを説明する際に、度数折れ線の形や階級の度数の大小関係に着目して、それらを基に説明できるようにすることが重要。

- ・分布について生徒に説明させる際に、どのようなところに着目(データが集まっているところなど)しているかを問い返したり、目的に応じてデータの傾向やその特徴を伝えるための根拠として、どの代表値を用いるべきか判断したりする活動を取り入れることが大切である。

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	50.1	50.2
大分県	50.8	50.4

正答率	知識	活用
目標値	65.7	45.5
宇佐市	63.7	40.1
大分県	65.4	40.7

(2) 観点別・領域別正答率

	観 点			領 域			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	エネルギー	粒子	生命	地球
目標値	68.7	47.0	53.6	58.8	57.3	65.0	54.2
宇佐市	66.8	42.5	46.0	55.4	51.3	65.7	51.3
大分県	68.7	43.1	46.2	56.2	52.9	67.5	52.3
偏差値	50.2	50.0	49.6	49.7	50.0	50.7	50.2

(3) 結果のポイント

○偏差値(知識・活用)は50を上回っている。しかし、正答率(知識・活用)は県平均を下回っている。

○正答率(観点別・領域別)すべてにおいて、県を下回っている。

(4) 授業の改善のポイント

○実験や観察で生徒の興味を高め、なぜそうなるのかを根拠をもとに話し合ったり、またその根拠が正しいのかを検証したりする活動を仕組む。

○実験等では、既習の内容や経験を基に予想をさせ、予想や仮説を確かめるための観察や実験の方法を考えさせる。

○実験の結果について見通しを持ち、結論が生活の中でどのように活かされているのかを見つける活動を取り入れる。

○学習した内容を定着させるための工夫を行う。

(小テスト、家庭学習、ドリルパーク)

○観察や実験を行い、結果をもとに考察する時間を十分に確保するとともに、考察したことや結論を自分の言葉で表現できるように指導する。(ワークシートの穴埋めではなく、自分の言葉で表現できるようにする)

(1) 偏差値及び正答率

偏差値	知識	活用
宇佐市	49.5	49.7
大分県	49.7	50.5

正答率	知識	活用
目標値	54.1	46.8
宇佐市	52.8	44.6
大分県	53.3	46.7

(2) 観点別・領域別正答率

	観 点			領 域		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	聞くこと	読むこと	書くこと
目標値	57.2	45.0	39.3	62.2	56.8	35.0
宇佐市	57.1	41.7	36.4	61.1	56.1	31.8
大分県	57.6	43.4	38.7	62.3	56.1	34.1
偏差値	49.8	49.4	50.1	48.9	50.0	49.7

(3) 結果のポイント

○偏差値(知識・活用)、正答率(知識・活用)すべてにおいて県を下回っている。

○正答率(観点別・領域別)すべてにおいて、県を下回っている。

(4) 授業の改善のポイント

【聞くこと】

○話されることの全てではなく、聞き手として目的に応じて知りたいことや欲しい情報などの「必要な情報」を聞き取る力を身に付けさせることが重要。

- ・生徒にとって身近な学校生活や家庭生活などを想定するとともに、音のつながりなどが聞き取れるようになるためにも、過度に遅くなく自然な速度に近い音声を聞き取れる活動を多く設定する。
- ・クラスルームイングリッシュに慣れさせる。担任やALTの英語での指示を聞き、理解して動くことを意識させる。
- ・スモールトークを取り入れ、ゲームやペア会話などのアクティビティを多用し、話を聞いたり、伝えたりする活動を量・質ともに確保する。

【読むこと】

○一文ずつ解決しながら全体の理解につなげる読み方ではなく、文章全体を読んで大切な部分を捉えさせる読み方を指導することが重要。

○フォニックスを活用して音とつづりの関係性を理解できるようにし、英単語が読めるようにする。

○教え込むのではなく、生徒の気づきを引き出しながら指導することが重要。

- ・読む目的に応じて要点を把握させるとともに、文章から取り出した情報をもとに自分の考えを話したり書いたりするなど、領域間の統合的な言語活動を行う。

【書くこと】

○「日常的な話題」について、自分が伝えたいことや情報、考えたことや感じたことなどを明らかにし、それらを整理した上で、内容的にまとまりのある文章を書くことを身に付けさせることが重要。

○意味の伝達において語順が重要な役割を担っていることから、語の配列等の特徴を日本語との比較の中で捉えさせていく場面を設定する。

- ・音声と文字を結びつけるため、イラストや映像等の教材(ICT教材)等を多用し、身近で簡単な語句の意味が分かるようにする。

【小学校】

◎全国を5ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値(良好な回答の合計)

番号	質問	宇佐市	全国
1	あなたは、ものごとを最後まであきらめずにやりぬく方ですか。	84.8	79.1
2	夢中になった、勉強が面白いと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がありますか。	79.4	70.2
3	あなたの発言は、クラスの人々を動かす力があると思いますか	52.7	47.6
4	友だちの意見を聞いて新しいことに気づいたり、自分の考えが深められたりして勉強って面白いなと思うことがありますか。	75.4	69.2
5	近所の人に会ったときは、あいさつしていますか。	87.4	77.8
6	小さい子や、お年寄りが困っているときは、まよわず手助けしていますか	81.0	74.6

▲全国を5ポイント以上下回る項目※数値は肯定値(良好な回答の合計)

番号	質問	宇佐市	全国
1	クラスの人々がふざけたり、おしゃべりをしたりして、授業に集中できないことがありますか。	42.5	47.6
2	周りでいじめを見たり聞いたりして、心が痛むことがありますか。	71.4	79.9
3	信じていた友だちから、思いもよらぬ言葉を聞かされたり、つらい態度をとられたりして、傷ついたことがありますか。	56.7	62.6

- 「教科の勉強が好き、わかる」の質問については、ほぼすべての教科で肯定的な回答が増加した。
- 全体的に「自己肯定感」「社会参画」が高い。
- 学習意欲に関する項目では、「夢中になった、勉強が面白いと思った、やる気が出た」と肯定的に回答した児童の数が増えた。主体的・対話的で深い学びを意識した学習を進めることで、学びへの意欲と学力の定着が結びついている結果が出ている。
- 「学級の規範意識」、「いじめのサイン」が低い傾向にある。昨年度も課題として挙げられ、児童生徒一人ひとりの様子や友だち関係について、仲間づくり(人権の視点をもって)を大切にして、チームとして組織的な生徒指導をしていく必要がある。

▲その他の回答様式で改善が見られる項目・課題が見られる項目

課題	平日(月～金)、1日どれくらいの時間、テレビや動画を見たり、インターネットを使ったり、ゲームをしたりしますか。	3時間以上…14.7% 4時間以上…28.9% 昨年度より6%増
改善	学校の授業以外で、週に何日くらい勉強していますか。	ほぼ毎日…34.5% 昨年度より6%増

- メディアの視聴や長時間の使用は昨年度よりさらに増加傾向にある。小中連携したメディアコントロールの取組も推進しているが、家庭や地域の協力が不可欠である。

【中学校】

◎全国を5ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値％(良好な回答の合計)

番号	質問	宇佐市	全国
1	自分なりにがんばったことを、先生が認めてくれて、うれしかったことがありますか。	84.1	79.1
2	夢中になった、勉強が面白いと思った、やる気が出た、という記憶に残っている授業がありますか。	72.2	62.1
3	学校生活の中で、クラスみんなが、あなたに注目してくれることはありますか。	58.5	53.0
4	近所の人に会ったときはあいさつをしていますか。	86.3	73.0
5	あなたは、学校生活の中で他の人が発言したり、発表したりするときに、質問をしていますか。	35.4	29.1
6	小さい子や、お年寄りが困っているときは、まよわず手助けをしていますか。	79.2	69.5
7	お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加していますか。	72.4	66.2
8	ノートの取り方について、自分なりの工夫をしていますか。	74.7	68.0
9	あなたは、授業や日常生活の中で、不思議だな、どうしてだろう、と思ったことを調べていますか。	58.2	48.0

▲全国を5ポイント以上下回る項目※数値は肯定値(良好な回答の合計)

番号	質問	宇佐市	全国
1	自分には、いいところがあると思いますか。	61.0	68.1
2	周りでいじめを見たり、聞いたりして、心が痛むことがありますか。	80.5	86.9
3	仲間はずれになるのが怖くて、本当は気が進まないのに、友だちの意見に合わせたり、一緒に行動したりすることがありますか。	63.8	70.4
4	クラスや友だちの話題についていくのが大変だ、自分のよく知らない話題が出てくると不安だ、と感じることがありますか。	74.4	80.5
5	信じていた友だちから、思いもよらぬ言葉を聞かされたり、つらい態度を取られたりして、傷ついたことがありますか。	63.0	68.6
6	自分がいつ、いじめのターゲットになってしまうか、不安を感じることはありませんか。	81.5	86.6
7	あなたは地球上でたった一人の、あなたのことを大切に思っている人々にとって、かけがえのない存在であるということを知っていますか。	65.8	71.7

○「おもいやり」「社会参画」「学習意欲」の肯定値が高い。

○「自己肯定感」「対人ストレス」「いじめのサイン」の肯定値がやや低く、生徒一人ひとりの様子や友だち関係について、チームとして組織的な生徒指導をしていく必要がある。

▲その他の回答様式で課題が見られる項目

課題	平日(月～金)、1日どれくらいの時間、テレビや動画を見たり、インターネットを使ったり、ゲームをしたりしますか。	3時間以上…26.6% 4時間以上…24.8% 昨年度より8%増
課題	学校の授業以外に、平日1日どれくらい勉強しますか。	まったくしない…16.7% 30分くらい…16.5% 1時間くらい…30.9%

○メディアの長時間使用は毎年課題に挙げられており、増加傾向にある。さらに、4時間以上の生徒数の割合が30%以上で、非常に高い。小中連携したメディアコントロールの取組も推進していくが、家庭や地域の協力が不可欠である。